

**活動実施日時**

2018年6月12日（火） 熊大病院11:00～12:00 熊本赤十字病院14:30～15:30

**活動場所**

熊大病院、熊本赤十字病院

**活動名** 音楽授業：見て・聴いて・さわって音楽を楽しむ

3つの楽器のことを勉強しよう オーボエ・チェロ・ピアノ

**本日の講師・出演者**

オーボエ／桐谷美貴子 チェロ／井上 忍 ピアノ／安浪由紀子

**本日の授業内容・演奏プログラム**

## ①オープニング

ヘンデル／水上の音楽第二組曲より「アッラ・ホーンパイプ」

## ②楽器はなぜ音が出るのでしょうか～たたく、こする、吹く

## ③楽器体験その1～チェロを弾いてみよう

## ④オーボエのメロディーを聴いてみよう

大島ミチル／「風笛～あすかのテーマ」

## ⑤楽器体験その2～ストローオーボエを吹いてみよう

## ⑥みんなで合奏に挑戦しよう

アンゲラー／おもちゃのシンフォニー第1楽章

## ⑦最後にもう1曲 素敵な演奏を聴こう

ロジャース／サウンド・オブ・ミュージック

**活動の感想・反省点など**

オープニングで、三重奏を演奏して、まずはプロの演奏を生で体験してもらいました。

次に、3つの楽器の音のでる仕組みを説明しました。

ピアノは、たたくと弦が震えて音が鳴ることを、ハンマーという部品の写真を使って説明。

チェロは、弦を弓でこするか指ではじくと弦が震えて、その振動が本体に伝わり音が出る。

オーボエは、リードが震えて管の中の空気を振動させて音になる。

以上のことを教えた上で、まずはチェロの演奏体験です。

恥ずかしがる生徒たちに弓を持たせて音を鳴らしたり、チェロを触ってもらい音が体や床に響くのを感じてもらいました。

次は、オーボエのソロです。NHKの朝ドラの主題歌「風笛～あすかのテーマ」を演奏し、ご家族にも楽しんでもらいました。

そして、オーボエの演奏体験です。オーボエのリードをくわえさせることは衛生上できません。

そこで、OnPalが用意しているのは、ストローを使って作ったオリジナルのストローオーボエです。吹く力の弱いこどもでも簡単に音が出せるように仕掛けをしているので、みんな音を出すことができました。自分で音を出せた時の嬉しそうな顔がとっても素敵でした。

次は、合奏体験です。おもちゃのシンフォニーをみんなで演奏しました。

使う楽器は、「ストローオーボエ」「紙コップのカッコウ笛」「ペットボトルのシェーカー」ですべて手づくりです。

2度ほど私たちの演奏を聴かせて、だいたいどのタイミングで鳴り物を鳴らすのかを伝えます。あとは私の指揮に合わせて、タイミング良く音を出す練習をしました。もちろん楽譜通り正確にはできませんが、とても良い感じで合奏を楽しむことができました。

最後に、私も水笛の演奏で加わって、サウンド・オブ・ミュージック メドレーを聴いてもらいました。

**参加者**

OnPal：井上、桐谷、安浪、真隅k、真隅s G A P：

熊本大学：藤原先生、山野さん、学生5人

熊本大学病院：小学生6人 中学生1人 教師2人 家族4人 病院 人

熊本赤十字病院：小学生4人 中学生3人 教師2人 家族・幼児11人 病院8人



**活動実施日時**

2018年6月20日(水) 14:30~15:30

**活動場所**

こども病院2F ひまわり学級

**活動名**弦楽器の中で一番大きな楽器はコントラバス  
みんなで、見て、聴いて、弾いて、勉強しよう**本日の講師・出演者**

コントラバス／森田良平、ピアノ／室屋麗華

**本日の授業内容・演奏プログラム**

- ①クラシック音楽は難しくない！ まずは音楽でごあいさつ  
エルガー作曲 '愛のあいさつ'
- ②音の動物園!! いろんな動物をコントラバスで表現  
サンサーンス作曲 'ゾウ' '白鳥'  
ロレンツィティ作曲 'ガボット'
- ③コントラバスクイズ これでもみんなもコントラバス博士
- ④童謡・唱歌100周年 日本のメロディを聴いてみよう  
滝廉太郎作曲 '荒城の月'  
山田耕作作曲 'からたちの花'
- ⑤コントラバス一つだけで奏でる音楽  
久保禎作曲 '樹影'
- ⑥これぞ超絶技巧!!  
クラシック音楽の世界  
モンティ作曲 'チャルダッシュ'

**活動の感想・反省点など**

①同日午前中に行った九大病院がんばる一むの生徒さん達に比べて、症状の軽い生徒さんたちなので表情が明るく、演奏に集中出来る様子でした。

②動物をコントラバスで表現。九大病院と同じく、フルに想像力を働かせて聴き入っていました。

③コントラバスクイズでは、とんとんと正解を出し、弦が昔は羊の腸だった、というところは写真だけでは今一つ理解できない様子でした。次回は現物を用意しようと思います。井上がちょうどチェロを持ってきていたので、森田さんからの展示要請を受け、横に並べてコントラバスとの違いを尋ねました。案の定、まずは色の違いを指摘されましたが、一番近い生徒さんが、なで肩、いかり肩の違いに気付きました。なで肩はヴィオール族、いかり肩がヴァイオリン族、と同じ弦楽器でもルーツが異なります。

白鳥の冒頭をチェロで弾き、コントラバスの音域が1オクターヴ低いことを理解しました。続いてアイネクライネ…の一節を一緒に弾き、同じ楽譜を読みながらもコントラバスは1オクターヴ低い音程で弾くことを説明しました。

④日本のメロディ、⑤コントラバス一つだけで奏でる音楽、久保禎作曲'樹影'、⑥'チャルダッシュ'でコントラバスの音色を堪能しました。

これだけコントラバスの演奏をまとめて聴くことは、大人になってもそうそうあるものではありません。子供たちの中にいろいろな疑問が湧いてきました。

「表に開いている穴は何ですか？」…f字孔といって、空気の振動を外へ出す役目をしています。

「弦の数は4本に決まっているのですか？」…オーケストラではもう一本音程の低い弦を持つ5弦コントラバスを使うことがあります。「弦が5本になったら、上の回すところも増えるのですか？」…その通りです。よく気が付きましたね。

最後に全員が楽器を弾いたり触れてみて、音の出方や楽器本体が振動するのを体感しました。

**参加者**

OnPal：真隅k、真隅s、安田、井上 GAP：  
(音楽授業)小学生7人 中学生3人 教師3人 他4人



---

**活動実施日時**2018年6月20日(水) 11:00~12:00

---

**活動場所**九州大学病院小児医療センター

---

**活動名**弦楽器の中で一番大きな楽器はコントラバス  
みんなで、見て、聴いて、弾いて、勉強しよう

---

**本日の講師・出演者**コントラバス／森田良平、ピアノ／室屋麗華

---

**本日の授業内容・演奏プログラム**

- ①クラシック音楽は難しくない！ まずは音楽でごあいさつ  
エルガー作曲 '愛のあいさつ'
  - ②音の動物園!! いろんな動物をコントラバスで表現  
サンサーンス作曲 'ゾウ' '白鳥'  
ロレンツィティ作曲 'ガボット'
  - ③コントラバスクイズ これでもみんなもコントラバス博士
  - ④童謡・唱歌100周年 日本のメロディを聴いてみよう  
滝廉太郎作曲 '荒城の月'  
山田耕作作曲 'からたちの花'
  - ⑤コントラバス一つだけで奏でる音楽  
久保禎作曲 '樹影'
  - ⑥これぞ超絶技巧!!  
クラシック音楽の世界  
モンティ作曲 'チャルダッシュ'
- 

**活動の感想・反省点など**

- ①一曲目はまだ生徒さん達に緊張の色が伺えます。コントラバスのお兄さんが髭を生やしていて一見強面に見えるからかな？
  - ②「いろんな動物をコントラバスで表現」では、動物を想像しながら聴く余裕が出てきたようです。ロレンツィティ作曲 'ガボット' は、別名「ゾウとハエ」。ハエが飛び回る様子や細かな動きをしているところを高音域で表現しています。重音のポルタメントで下がる場所など、興味津々です。
  - ③毎回恒例のクイズコーナー。弓の毛は即座に「ウマ！」と元気に答えた子がいました。この瞬間から教室の空気が変わったように感じます。「だって馬のシッポみたいだもん」と、思ったこと気兼ねなく言える雰囲気作りはこのコーナーは欠かせません。  
長さを測るためにメジャーをお借りしましたが、次回以降は必需品になりそうです。
  - ④日本のメロディは、生徒さん達にとって初めて聴く曲だったのではないのでしょうか。テキストには歌詞を記していましたが、歌うまでには行きませんでした。朗々と歌い上げる音色が心に染み入ります。それだけでも十分だったと思います。
  - ⑤コントラバス独奏'樹影'は、作曲家久保禎さんが森田さんのために作られた、桜島をモチーフにした曲。これまで何度も弾いてこられたのでしょうか。紡ぎだされる音が生き生きとしています。様々な技巧を駆使した演奏に引き込まれます。
  - ⑥'チャルダッシュ'は、本来ヴァイオリンのために書かれた曲ですが、コントラバスで弾かれるのは初めて見ました。大人は技術的なところに目がいきますが、生徒さんたちにとってはそういうことは関係なく、一つの音楽として自然に受け止めているように思えました。早いパッセージでは、目を丸くしたり、心躍るような表情だったり、さまざまな形で鑑賞していました。授業時間が早めに終わったので、後方の生徒さんのところへもコントラバスを持っていき、触れて振動を感じてもらいました。
- 

**参加者**OnPal：真隅k、真隅s、井上 GAP：松隈  
(音楽授業) 小学生14人 中学生8人 教師5人 他3人

---



---

**活動実施日時**2018年9月19日(水) 14:00~14:35

---

**活動場所**こども病院 ひだまりギャラリー

---

**活動名**ひだまりギャラリーコンサート「カンタローのぼうけん」

---

**本日の講師・出演者**ナレーション／竹下 恵 フルート／白木彩子  
チェロ／井上 忍 ピアノ／安浪由紀子

---

**本日の授業内容・演奏プログラム**

紙芝居コンサート「カンタローのぼうけん」の2回目の公演を行いました。

「カンタローのぼうけん」は紙芝居と音楽によるものがたりです。

楽しい絵とショパンのメロディーで、物を大切に作る心を伝えます。

企画：特定非営利活動法人OnPal

原作・構成：松隈直知

イラストレーション：鄭 菊振

編曲：竹下 恵

エディトリアルデザイン：中牟田麻耶

助成：公益財団法人ベネッセこども基金

---

**活動の感想**

3月の九大病院はプレイルームで会場が小さいので、紙芝居で行いましたが、今回はひだまりギャラリーという広い会場だったので、初めてプロジェクターで画像をスクリーンに映写して行いました。このPCやプロジェクターは、ベネッセこども基金の補助金で購入したものです。この効果は抜群でした。

今回も、会場のこどもたちに絵本のキャラクターになってもらい、一言ずつせりふを言ってもらいました。自転車さんや、トンボさんや、くまさんなど8つのキャラクターを振り分けましたが、入院児童を中心にとっても上手にセリフを言ってくれました。ショパンの名曲の演奏も、練習を重ねた成果で素晴らしい演奏を聴かせてくれました。

とても楽しいカンタローのイラストと、フルートとチェロとピアノのメロディーそしてナレーションを行った竹下さんの名調子に、こどもも大人もとても楽しんでいただけの様子でした。

また、絵本はこどもたち限定でプレゼントしました。

反省点としては、セリフ用のマイクの音量をもう少し大きくしたらよかったと思いました。また、やや暗い曲が多いので、明るい曲の時は思い切って明るく演奏して、変化をはっきりさせる必要があると感じました。

次回は、9月28日に福大病院のプレイルームで実施する予定です。

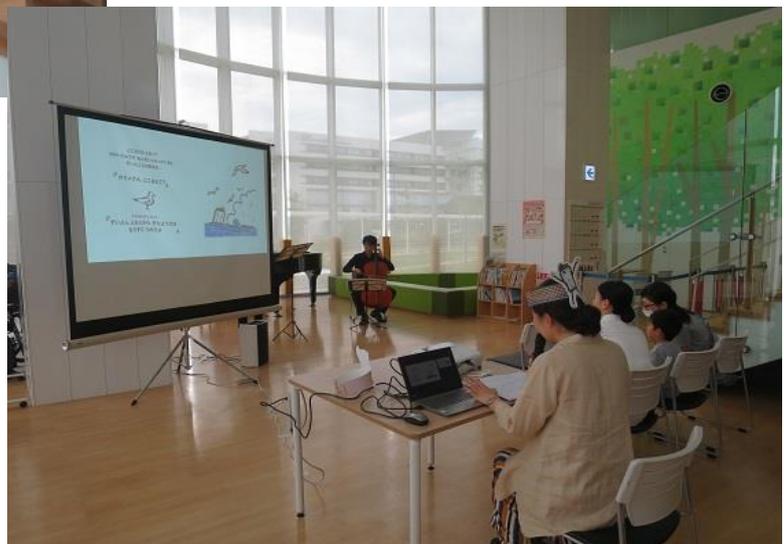
---

**参加者**OnPal：真隅k、真隅s、福田、高木、平島沙帆(f1)、井上由美(pf)、他2名  
病院：(音楽授業)小学生 人 中学生 人 教師他 人

---

(コンサート) 観客 40人

---



---

**活動実施日時**2018年9月26日(水) 11:00~12:00

---

**活動場所**九州大学病院 小児医療センター プレイルーム

---

**活動名**こと(箏)を聴いてみよう弾いてみよう

---

**本日の講師・出演者**河原伴子 河原抄子

---

**本日の授業内容・演奏プログラム**

- ①祭りの太鼓
- ②日本のうたメドレー
- ③箏クイズ(クイズを出しながら楽器紹介)
- ④瀬音
- ⑤お箏を弾いてみよう (体験)
- ⑥となりのトトロ

---

**活動の感想・反省点など**

初めての和楽器「箏」の授業を行いました。

始めの曲「祭りの太鼓」は、こどもにもわかりやすい楽しく躍動感のある曲で、冒頭からこども達は目を見張って熱心に聴き入っていました。また、「日本のうたメドレー」も箏の音色にうっとりさせられる曲で、印象としては、西洋の楽器よりもこども達が熱心に聴いているように感じました。

お箏クイズは、

第一問 お箏は一匹の動物に例えて色んなところに名前がついています。

第二問 お箏には頭と尻尾があります。ではそれぞれどっちの部分でしょう。

第三問 お箏の絃は何本あるでしょう

第四問 糸には名前がついています。一から十までは普通の数字です。

第五問 箏の長さは何センチメートルでしょうか。

第一問の答えの龍は、ほとんどのこどもが正解でした。中学校ではすべての学校でお箏を授業で取り入れているそうです。

クイズを通じて色々なことを教えていただきました。

宮城道雄作曲の「瀬音」という箏と十七絃の名曲を聴いて、弾いてみようコーナーでは、全員が箏を触って音を出すことができ、最高の笑顔が広がりました。

最後にトトロを聴いて、歌って授業を終わりました。

病室に帰るエレベーターの中で、中学生がお母さんに「きれいな音だったね」と話していたそうです。

---

**参加者**

OnPal : GAP :

病院：(音楽授業)小学生11人 中学生 8人 教師他 4人

(コンサート)観客 人

---



---

**活動実施日時**2018年9月28日(金) 14:00~14:35

---

**活動場所**福岡大学病院 新館5階 プレイルーム

---

**活動名**プレイルームコンサート「カンタローのぼうけん」

---

**本日の講師・出演者**ナレーション／竹下 恵 フルート／白木彩子  
チェロ／井上 忍 ピアノ／安浪由紀子

---

**本日の授業内容・演奏プログラム**

紙芝居コンサート「カンタローのぼうけん」の3回目の公演を行いました。

「カンタローのぼうけん」は紙芝居と音楽によるものがたりです。

楽しい絵とショパンのメロディーで、物を大切に作る心を伝えます。

企画：特定非営利活動法人OnPal

原作・構成：松隈直知

イラストレーション：鄭 菊振

編曲：竹下 恵

エディトリアルデザイン：中牟田麻耶

助成：公益財団法人ベネッセこども基金

---

**活動の感想**

19日のこども病院同様、今回もスクリーンを使って「カンタローのぼうけん」の絵本を見ながら、演奏を聴いて楽しんでいただきました。

演奏者もナレーターもスタッフも馴れてきて、とてもスムーズに進行できました。会場のプレイルームもちょうど良い広さで、キャラクターのセリフを言ってくれた7人のこども達もとても上手で、また、前回の反省からマイク音量を少し大きめにセッティングしていたので、良く聞こえて、終わるたびに拍手が湧きました。

ショパンの名曲の演奏も、練習を重ねた成果で素晴らしい演奏を聴かせてくれました。やや暗い曲が多いので、明るい曲の時は思い切って明るく演奏して、変化をはっきりさせる必要があるという前回の反省も十分に生きた演奏でした。

苦労して制作したオリジナル作品は、こどもの心にも家族にも響いたようです。

絵本はこどもたち限定でプレゼントしました。

また、病院のスタッフの皆さんも一生懸命協力していただけますので、気持ち良く活動することができます。これにも感謝です。

おまけですが、公演終了後に2組の親子が会場に来られました。即座に臨時のコンサートが始まりました。演奏した3人に加えて、手伝いに来ていた歌手の林さんと福田さんの歌も加わって数曲を聴いてもらい、こどももお母さんも大喜びでした。OnPalメンバーの気持ちの良い対応にも感謝感謝です。

---

**参加者**OnPal：松隈、真隅k、真隅s、福田、林 GAP：小南  
病院：幼児・小学生・中学生 15人 家族ほか33人

---



---

**活動実施日時**2018年10月11日(木) 13時50分～14時50分

---

**活動場所**福岡東医療センター

---

**活動名**いずみ祭り(コンサート)

---

**本日の講師・出演者**ソプラノ/曲尾理紗      メゾ・ソプラノ/福田綾子  
オーボエ/桐谷美貴子      ピアノ/吉富淳子

---

**本日の授業内容・演奏プログラム**

- 1、山の音楽家
  - 2、あいさつ、メンバー紹介
  - 3、風笛
  - 4、シューベルト “ます”
  - 5、オーソレ ミオ
  - 6、カッチーニ “Ave Maria”
  - 7、秋のメドレー
  - 8、皆さんと一緒に
  - ① 「おもちゃのちゃちゃちゃ」
  - ② ジブリメドレー  
「崖の上のぼによ」より “海のおかあさん” “崖の上のポニョ”  
「となりのトトロ」より “さんぽ” “風のとおり道” “ねこバス”  
“となりのトトロ”
  - 9、映画「屋根の上のヴァイオリン弾き」より “サンライズサンセット”
  - 10、映画「マイ・フェア・レディ」より “踊り明かそう”
  - 11、「ヘンゼルとグレーテル」より “夕べの祈り”
- 

**活動の感想・反省点など**

昨年度末に福岡東医療センターから、難病の子ども約60名とその家族のための「いずみ祭」というイベントを毎年秋にやっているのをお願いできないかというご相談があり実施しました。

OnPalではこれまで、病気で入院している子どもを対象として活動してきましたが、知的傷害のある子どもは対象にしていませんでした。これは、私たちに知的傷害にどのように音楽を届けるかというノウハウがないと考えていたからです。

しかし、今回の取り組みでは、手作りの楽器やポニョのうちわを配り、またトトロのパネルやプロジェクターを利用したアニメの映写など、会場参加型かつビジュアルで賑やかな演出を行ったところ、家族だけでなく、ストレッチャーに寝たきりの子どもや患者さん達の表情が明らかに変化するのが分かりました。にこやかな表情はもちろんですが、病院スタッフの話では、コンサートの後、患者さんの脈拍数がとても落ち着いたり、明らかに効果が見られたとのことでした。

今年は、12月に熊本のNEXTEPという難病の幼児を預かる施設でもコンサートを行います。今後は、この分野でも音楽の活用方法を研究しながら活動を実施していきたいと思えます。

---

**参加者**

OnPal：福田、曲尾、桐谷、吉富、松隈、真隅k、真隅s

GAP：川崎、城戸

病院：約150名

患者：57名(18歳未満：11名 18歳以上：46名)

家族：60名程度      スタッフ：30名程度



**活動実施日時**

2018年10月29日（月）11:00～12:00 音楽授業 13:15～15:00 説明会

**活動場所**

熊本大学病院 院内学級

**活動名**

音楽授業：フルートを聴いてみよう、吹いてみよう

説明会：2019年からの熊本メンバーによる活動開始に向けた説明

**本日の講師・出演者**

音楽授業：フルート 白木彩子 金堂由樹子 ピアノ 吉富淳子

説明会：真隅潔 松隈直知

**音楽授業**

①オープニング グリーク作曲：ペールギュントより「朝」

②フルートってどんな楽器だろう 楽器クイズ

③フルートの仲間たち～それぞれの楽器をみてみよう

ピッコロ ダマレ：白つぐみ

アルトフルート サンサーンス：白鳥

④いろいろな曲を聴いてみよう

イングランド民謡：ピクニック 葉加瀬太郎：情熱大陸

J. Lacalle：アマポーラ

⑤さあ！フルートのように音を出してみよう

⑥いろいろな曲を聴いてみよう NO.2

ピアノ：リベルタンゴ A Whole New World

⑦さいごに・・・フルートといっしょに歌おう さんぼ

音楽授業の様子を、熊本在住の音楽家4人と、熊本大学教育学部の学生5人に見学していただきました。クイズや手作りフルートを使うOnPalオリジナルの音楽授業に子ども達はとても楽しそうに反応し、音楽家達にはその雰囲気を理解していただけたと思います。

**説明会**

(説明内容)

1. OnPal 設立の背景
2. OnPal の誕生
3. OnPal の活動
4. 元気アートプロジェクトとの協働
5. OnPal の組織と財務状況
6. 熊本における今後の活動予定
7. クリスマスツリーとストローオーボエづくり体験

熊本では、2019年から熊本大学病院、熊本赤十字病院の入院児や、特別支援学校の生徒、再春荘病院などの重症心身障害児などを対象に、熊本在住者による活動をスタートさせる予定です。

この日は、ヴァイオリン、フルート、オーボエ、クラリネットの4人のメンバーや、熊本大学教育学部特別支援教育学科の准教授の藤原先生と生徒さん達が参加してくれました。

12年前の元気アートプロジェクトの設立から5年前のOnPal 設立の背景や、OnPal の活動内容、GAPとのコラボレーションによる特徴のある活動、OnPal の組織や予算、熊本における今後の活動に対する期待などをお話しました。

特に熊本では学生達によるデザイン活動も期待しており、クリスマスツリーとストローオーボエづくりも体験してもらいました。

**参加者**

OnPal：松隈、井上、真隅k、真隅s

病院ほか：(音楽授業)小学生2人 教師2人 音楽家4人、

熊大：先生1人 学生5人 聴講生1人

(説明会) 音楽家4人、熊大：先生1人 学生4人



---

**活動実施日時**2018年11月13日(金) 10:40~11:40

---

**活動場所**こども病院 ひまわり学級

---

**活動名**こと(箏)を聴いてみよう弾いてみよう

---

**本日の講師・出演者**河原伴子 河原抄子

---

**本日の授業内容・演奏プログラム**

- ①祭りの太鼓
- ②日本のうたメドレー
- ③箏クイズ(クイズを出しながら楽器紹介)
- ④瀬音
- ⑤お箏を弾いてみよう (体験)
- ⑥となりのトトロ

---

**活動の感想・反省点など**

9月の九大病院に続いて「箏」の授業を行いました。

始めの曲「祭りの太鼓」は楽しく躍動感のある曲で、こども達が箏の音色に引き込まれていく様子が伝わってきました。また、「日本のうたメドレー」は童謡や日本らしい曲のメドレーで、とても親しみやすかったと思います。

お箏クイズは、

第一問 お箏は一匹の動物に例えて色んなところに名前がついています。

第二問 お箏には頭と尻尾があります。ではそれぞれどっちの部分でしょう。

第三問 お箏の絃は何本あるでしょう

第四問 糸には一から十まで名前がついています。奏者から見てどちらが一でしょう。

第五問 箏の長さは何センチメートルでしょう。

中学校ではすべての学校でお箏を授業で取り入れているようで結構みんなよく知っていました。クイズを通じて色々なことを教えていただきました。

お待ちかねの弾いてみようコーナーは、たつぷりと時間を使い、全員に箏を触って音を出してもらいました。みんなとっても嬉しそうでしたよ。

最後にトトロを聴いて、歌って授業を終わりました。

---

**参加者**

OnPal : 2人 GAP : 1人

病院 : (音楽授業) 小学生・中学生 10人 教師 2人

(コンサート) 観客 人

---



---

**活動実施日時**2018年12月16日(日) 14:00~15:30

---

**活動場所**須屋市民センター(熊本県合志市)

---

**活動名**認定NPO法人NEXTTEP クリスマス会

---

**本日の講師・出演者**マリンバ:竹下 恵 チェロ:井上 忍 ピアノ:安浪由紀子

---

**本日の授業内容・演奏プログラム**

今回初めて、熊本県合志市にある難病児と家族の支援拠点「NEXTTEP」のクリスマス会のお手伝いをさせていただきました。日本財団チャレンジキッズプロジェクトのご縁で実現したものです。

NEXTTEPが行うクリスマス会の後半を担当させていただき、NEXTTEP代表の島津先生やスタッフの方々と一緒に、コンサートをを行い会場を盛り上げました

OnPal コンサートプログラム

- ①おもちゃのチャチャチャ
  - ②聖者の行進
  - ③サンタが町にやってくる
  - ④主よ人の望みの喜びを
  - ⑤あわてんぼうのサンタクロース
  - ⑥クリスマスポップ(トリオ)、ピアノ・ソロ曲
  - ⑦ホワイト・クリスマス
  - ⑧そりすべり
- 

**活動の感想・反省点など**

コンサートの冒頭「おもちゃのチャチャチャ」の演奏とともに、会場後方から竹下さんが、身に着けた色々な打楽器を鳴らしながら登場しました。

「聖者の行進」のトリオ演奏に続いて、「サンタが町にやってくる」の演奏が始まると、後方よりNEXTTEP代表の島津先生扮するサンタクロースが「ホーホーホーメリークリスマス」と練り歩いてステージに上がりソリに座ります。

竹下さんがサンタさんに「お疲れのようだからゆっくりと演奏を楽しんでくださいね」と言って「主よ人の望みの喜びを」のトリオ演奏を聴いてもらいました。

「あわてんぼうのサンタクロース」で島津サンタが会場を回り始めます。26組の家族に声をかけながらプレゼントを配ると、難病の子どもと兄弟家族、みんなの心が一緒になって会場はあたたかい雰囲気になっていました。私たちはこの間15分ほど「クリスマスポップ」などBGM演奏を続けました。

プレゼントを配り終わると「ホワイト・クリスマス」の演奏です。OnPal特製の発泡スチロールペーパーの雪をNEXTTEPのスタッフ6人に客席に分け入りながら降らせていただきました。ゆらゆらと舞い落ちる雪の不思議な動きに、みなさんは感動された様子で、落ちてくる雪を手にとっては、何度も何度も病気の子どもの上から降らせてあげていました。

最後にそりすべりを演奏し、会場みんなで鈴を鳴らしてコンサートを終了しました。

当日は、GAP製作の松ぼっくりツリーとミニサンタのオブジェを皆さんにプレゼントしました。もちろんこちらもとっても喜んでいただきました。

---

**参加者**

OnPal:4人 NEXTTEPスタッフ:約40人

観客:約60人

---



---

**活動実施日時**2018年12月21日(金) 13:30~15:00

---

**活動場所**佐賀大学病院 東病棟2階 カンファレンスルーム

---

**活動名**佐賀大学病院 クリスマス会

---

**本日の講師・出演者**マリンバ：竹下恵 フルート：白木彩子 チェロ：井上忍 ピアノ：安浪由紀子

---

**本日の授業内容・演奏プログラム**

今回初めて、佐賀大学病院小児科病棟のクリスマス会のお手伝いをさせていただきました。GAPの活動に先行して、OnPalがコンサートを行ったものです。

クリスマス会の前半を担当させていただき、病院スタッフの方々と一緒に会場を盛り上げました

OnPal コンサートプログラム

- ①おもちゃのチャチャチャ
- ②聖者の行進
- ③サンタが町にやってくる
- ④主よ人の望みの喜びを
- ⑤あわてんぼうのサンタクロース
- ⑥クリスマスポップ（トリオ）、ピアノ・ソロ曲
- ⑦ホワイト・クリスマス
- ⑧そりすべり

---

**活動の感想・反省点など**

コンサートの冒頭「おもちゃのチャチャチャ」の演奏とともに、会場横から竹下さんが、身に着けた色々な打楽器を鳴らしながら登場しました。

「聖者の行進」のトリオ演奏に続いて、「サンタが町にやってくる」の演奏が始まると、OnPalメンバーの松隈さん分するサンタクロースが「ホーホーホーメリークリスマス」と練り歩いてステージに上がりソリに座ります。このトナカイとソリは松隈さんの製作です。

竹下さんがサンタさんに「お疲れのようだからゆっくりと演奏を楽しんでくださいね」と言って「主よ人の望みの喜びを」のトリオ演奏を聴いてもらいました。

「あわてんぼうのサンタクロース」で松隈サンタが会場を回り始めます。入院児と家族に声をかけながらオリジナルのミニサンタオブジェを配ると、会場は一気にクリスマスモードに包まれました。

「ホワイト・クリスマス」の演奏では、OnPal特製の発泡スチロールペーパーの雪をスタッフ4人に客席に分け入りながら降らせていただきました。みなさん、ゆらゆらと舞い落ちる雪を手にとって何度も降らせていました。

最後にそりすべりを演奏し、会場みんなで鈴を鳴らしてコンサートを終了しました。

佐賀大学病院は初めての活動でしたが、楽器の運搬から準備まで看護師長さん自らお手伝いいただくなど、とても協力的でした。また、クリスマス会に参加していた若いスタッフの皆さんは佐賀大学医学部の学生さん達だそうで、雪を降らせる作業もお手伝いいただきました。心優しいお医者様がたくさん誕生することを期待したいと思います。

さらに後日、写真や入院児と家族の感謝の言葉を載せたアルバムを送っていただきました。心のこもった対応に感謝しています。佐賀大学病院は少し遠いですが、これからも活動を行いたいと思います。

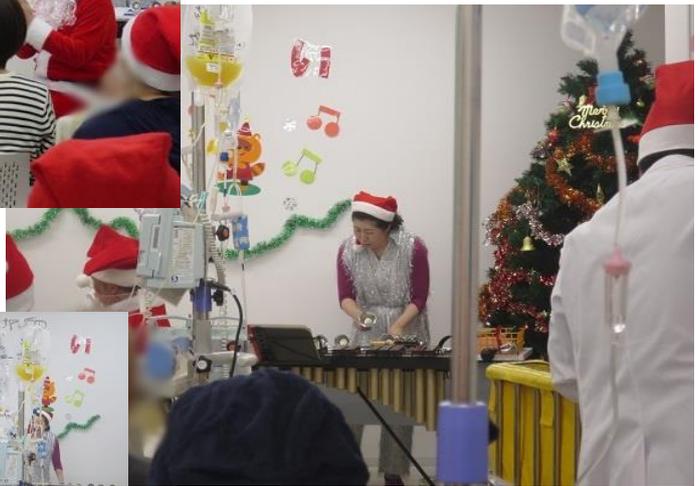
---

**参加者**

OnPal：7人 GAP：1人 病院スタッフ：約10人

観客：約20人

---



---

**活動実施日時**2018年12月25日(火) 14:30~15:20

---

**活動場所**福岡市立こども病院 ひだまりギャラリー

---

**活動名**クリスマス・コンサート

---

**本日の出演者**歌／林麻耶、曲尾理沙、福田綾子、ピアノ／吉富淳子

---

**本日の演奏プログラム**

1. ハレルヤ
  2. ジブリメドレー  
海のお母さん  
崖の上のポニョ (ホワイトボードに歌詞を掲載)  
ねこバス  
風の通り道  
となりのトトロ (ホワイトボードに歌詞を掲載)  
さんぽ (ホワイトボードに歌詞を掲載)
  3. 鐘鳴り渡り
  4. 星に願いを  
サンタ登場
  5. クリスマスメドレー  
赤鼻のトナカイ、もろびとこぞりて、ひいらぎかざろう、  
ジングルベル、サンタが街にやってくる
  6. ビリーブ  
(アンコール) 慌てん坊のサンタクロース
- 

**活動の感想・反省点など**

演奏会が始まる直前、今年初めての試みで、クリスマスツリーのボードを製作し、子どもたちに☆印のシールに名前とコメントを書き入れ、貼ってもらいました。このボードには来年も再来年も☆を貼ってもらう予定です。

もう一つの目玉は、これも松隈さん作のトナカイとそりの舞台セットです。

これらの仕掛けだけで、会場の雰囲気は違いました。

コンサートは「ハレルヤ」でスタート。3人の明るい歌声がひだまりギャラリーに響き渡りました。

「ジブリメドレー」では、歌詞をホワイトボードの両面を使って掲示し、お客さんも一緒に歌えるように。福田さん製作のトトロや猫バスのパネルも用意、そしてGAPが作ったポニョのうちわを振ってもらい楽しく盛り上がりしました。

「星に願いを」では、OnPal特製の発砲スチロールペーパーの雪を降らせます。スタッフがお客さんの間に分け入り雪を降らせると、ゆっくりと舞い降りる発砲スチロール雪にみんな大喜びで、手にとっては何度も何度も降らせて遊んでくれました。

曲終了後、後方より鈴の音が聞こえてサンタ(松隈さん)が「ホーホーホー・メリークリスマス」と言いながら練り歩いてステージに上がりソリに座ると、子どもたちの目が一段と輝きました。「クリスマスメドレー」で、サンタが子供たちのもとへプレゼントを配り歩きます。GAPが作った10cmほどのサンタの置物です。

今年のクリスマスコンサートは、熊本のNEXTEP、佐賀大学病院、福大病院、こども病院の4か所で2種類のコンサートを行いました。クリスマスツリーのパネル、トナカイとそりの舞台セット、発砲スチロールペーパーの雪、ミニサンタの置物など盛りだくさんの演出で、みなさんにとっても喜んでいただき、たくさんの笑顔に出会うことができました。

---

**参加者**

OnPal：真隅s、井上 GAP：松隈、川崎、武藤、城戸 林麻耶さんの旦那さん  
(観客) 約70人



---

**活動実施日時**2018年12月25日(火) 11:05～11:45

---

**活動場所**福大病院 新館5階 小児医療センタープレイルーム

---

**活動名**クリスマス・コンサート

---

**本日の出演者**歌／林麻耶、曲尾理沙、福田綾子、ピアノ／吉富淳子

---

**本日の演奏プログラム**

1. ハレルヤ
  2. ジブリメドレー  
海のお母さん  
崖の上のポニョ (ホワイトボードに歌詞を掲載)  
ねこバス  
風の通り道  
となりのトトロ (ホワイトボードに歌詞を掲載)  
さんぽ (ホワイトボードに歌詞を掲載)
  3. 鐘鳴り渡り
  4. 星に願いを  
サンタ登場
  5. クリスマスメドレー  
赤鼻のトナカイ、もろびとこぞりて、ひいらぎかざろう、  
ジングルベル、サンタが街にやってくる
  6. ビリーブ  
(アンコール) 慌てん坊のサンタクロース
- 

**活動の感想・反省点など**

今日は、午前中福大病院、午後こども病院のダブルヘッダーでした。  
会場入口にてポニョのうちわと鳴り物を貸し出す際、子どもたちはこれから何が起こるのだろうと期待に胸が膨らみ笑顔になりました。

会場では、演奏が始まる前に☆印のシールに名前やコメントを書き入れ、クリスマスツリーのボードに貼ってもらいました。今年初めての試みです。

いよいよコンサートの始まり。「ハレルヤ」では、3人の歌声が会場を抜けて、隣接したナースセンターにまで響き渡ります。「ジブリメドレー」では、歌詞をホワイトボードに掲示し、お客さんも一緒に歌えるようにしました。入口で配ったポニョのうちわを振ってもらい、福田さん手作りのトトロやネコバスのパネルとともに、雰囲気盛り上げました。

続いて「星に願いを」では、スタッフがお客さんの間に分け入り雪を降らせませす。発砲スチロールペーパーで作った雪の予想外のゆっくりした落ち方に子供も大人も驚き、どこの会場でもこのコーナーは皆さんとても喜んでいただけます。

曲が終わると後方より鈴の音が聞こえて来て、サンタ(松隈さん)が登場します。  
‘ホーホーホー・メリークリスマス’と言いながら練り歩いてステージに上がりソリに座ると、子供たちの目が一段と輝きます。

「クリスマスメドレー」では、再びサンタが立ち上がり、子供たちのもとへプレゼントを配り歩きます。10cmほどのミニサンタの置物に、ひとりひとり笑顔になっていきます。

最後に歌う「ビリーブ」は、病気に立ち向かう患者さんと付き添って看病する保護者さん達が勇気を得ます。

今年も、OnPalと元気アートプロジェクトが提供する楽しいクリスマスコンサートに、みなさん笑顔になっていただきました。

---

**参加者**

OnPal：真隅s、井上 GAP：松隈、川崎、武藤、城戸  
(観客) 子供11人 保護者10人 他3人

---



---

**活動実施日時**2019年2月19日(火) 11:00~12:00

---

**活動場所**九大病院がんばる一む

---

**活動名**チェロを聴いてみよう弾いてみよう

---

**本日の講師・出演者**チェロ：井上 忍 ピアノ：安浪由紀子

---

**本日の授業内容・演奏プログラム**

1. オープニング エルガー「愛のあいさつ」
2. クイズでチェロのことをたくさん知ろう
3. 色々な国の音楽を聴いてみよう～違いはわかるかな？  
(フランス) 夢心地の音楽 ドビュッシー「夢」より  
(イタリア) 情熱的な音楽 レオンカヴァッロ「マッティナータ」  
(たくさんの国) ディズニーの「小さな世界」
4. チェロを弾いてみよう
5. 最後にもう一曲 ピアソラ「リベルタンゴ」(長尺版)

---

**活動の感想・反省点など**

自己紹介のあとエルガーの「愛のあいさつ」を説明して演奏するとみんな目を丸くして聴いていました。

チェロクイズでは、①チェロという名前の由来 ②弓の毛は何で出来ている？  
③弦の太さはどうなってる？ ④弦の材料、昔は何だった？ ⑤チェロで使う音部記号は？  
②の弓の毛はみんな正解でしたが、他は結構難しい問題でした。

でも、・ト音記号・ハ音記号・ヘ音記号など、みんな一所懸命勉強しました。

色々な国の音楽では、チェロの井上さんがとても丁寧に説明しながら演奏してくれたので、こどもたちもお母さん方もとても楽しそうに聴いていました。

お待ちかねの楽器体験は、今回、9人と人数が少なかったので、スペースにも余裕があり、全員体験することができました。戸惑う様子もありましたが、みんなとても楽しそうに弾くことができました。

安浪さんが、バックで曲を弾いてくれたので、少し上手に鳴らしてる子には曲に合わせて弾かせると良かったかも知れません。

最後に、リベルタンゴを弾くと、体を揺らしながら聴いている子どももいました。とても和やかな授業になったと思います。

---

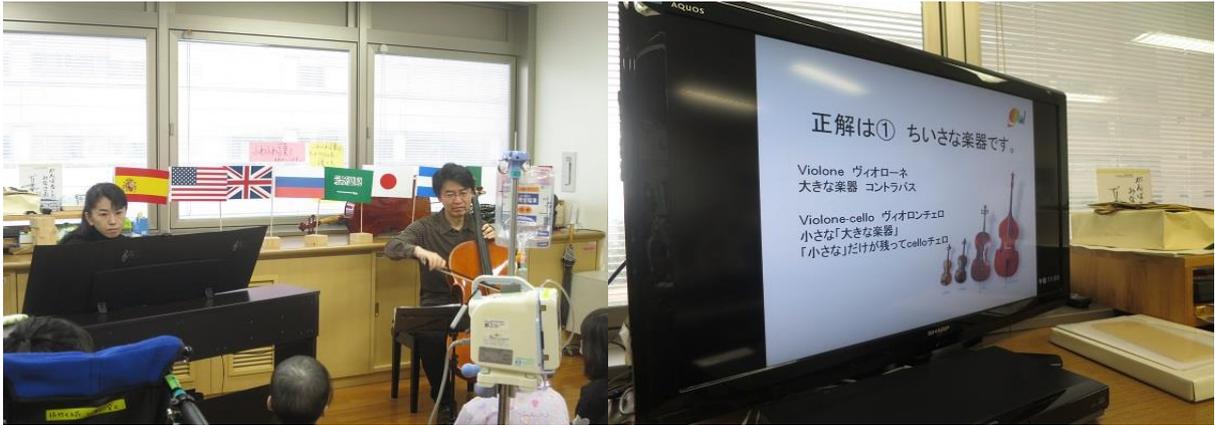
**参加者**

OnPal：松隈、真隅

GAP：川崎

病院：(音楽授業)小学生6人 中学生3人 教師4人 家族数人

---



---

**活動実施日時**2019年3月7日(木) 11:00~12:00

---

**活動場所**こども病院

---

**活動名**チェロを聴いてみよう弾いてみよう

---

**本日の講師・出演者**チェロ：井上 忍 ピアノ：安浪由紀子

---

**本日の授業内容・演奏プログラム**

1. オープニング エルガー「愛のあいさつ」
2. クイズでチェロのことをたくさん知ろう
3. 色々な国の音楽を聴いてみよう～違いはわかるかな？  
(フランス) 夢心地の音楽 ドビュッシー「夢」より  
(イタリア) 情熱的な音楽 レオンカヴァッロ「マッティナータ」  
(たくさんの国) ディズニーの「小さな世界」
4. チェロを弾いてみよう
5. 最後にもう一曲 ピアソラ「リベルタンゴ」(長尺版)

---

**活動の感想・反省点など**

今日は、生徒が3人と少し寂しい授業になりました。3月に入ると退院するこどもも多いようで、来年は2月に実施した方がよさそうです。

まずは、エルガーの「愛のあいさつ」の演奏です。イギリスの作曲家エルガーさんが愛する人のために作った曲ということを説明して演奏するとみんな食いついていました。

クイズは、みんなの興味を授業に向けるためのとても良い方法です。①チェロという名前の由来 ②弓の毛は何で出来ている？ ③弦の太さはどうなってる？

④弦の材料、昔は何だった？ ⑤チェロで使う音部記号は？ 今回は、ちょっと難しい問題が多すぎたかも知れません。

色々な国の音楽では、フランス、イタリア、イギリス、アルゼンチン、韓国、日本、中国、サウジアラビア、スペイン、ロシア、アメリカの11か国に因んだ曲やメロディーを聴いてもらいます。チェロの井上さんが色々な国の音楽のことをとても丁寧に説明しながら演奏してくれたので、子どもたちは楽しそうに聴いてくれました。

楽器体験は、子どもたちが一番喜んでくれるプログラムです。人数が少ないとより丁寧に時間をかけて体験してもらうことができるので、今日の子どもたちはラッキーでした。

最後に、とても軽やかなリベルタンゴを演奏して、楽しい授業を終わりました。子どもたちの笑顔が広がったのが印象的でした。

---

**参加者**OnPal：松隈、真隅 s                      GAP：  
病院：(音楽授業) 小学生3人 教師2人 家族数人

---



---

**活動実施日時**2019年3月8日(金) 14:00~15:00

---

**活動場所**九州大学病院小児医療センター プレイルーム

---

**活動名**プレイルームコンサート  
紙芝居ミュージカル「うんちはかせ」

---

**本日の講師・出演者**うた／林 麻耶 曲尾理紗 チェロ／井上 忍 ピアノ／八尋三菜子

---

**本日の授業内容・演奏プログラム**

- ・千と千尋の神隠し
  - ・君を載せて
  - ・エルガー：愛のあいさつ
  
  - ・紙芝居ミュージカル「うんちはかせ」  
うんちのことならなんでも知っている「うんち博士」  
うたが大好きな助手の「リオくん」  
動物のうんちをさがして、動物のうたを歌います
- 

**活動の感想・反省点など**

コンサートの始まりを私が、松隈さん作の拍子木で告げました。  
最初に、林麻耶さん、曲尾理紗さんのうたでジブリの曲を2曲、澄み渡る歌声にお母さん達はうっとりとした様子でした。

チェロの井上忍さんがエルガーの愛のあいさつを演奏する間に、林さんと曲尾さんは、うんち博士とリオくんの衣装に着替えます。

さあ、いよいよ紙芝居ミュージカル「うんち博士～動物たちの音楽会」の始まりです。ここでも私が拍子木を打ち鳴らして、紙芝居の始まりを告げました。とっても効果的だったようです。

「うんち博士」は4年前にOnPalとGAPが共同制作したオリジナルプログラムです。紙芝居と音楽によるコンサートで、草むらにかくされている紙粘土で作った色々な動物のふんを助手のリオくんが探してきて、博士に「これはなんのうんち？」と尋ねます。博士は子ども達と一緒に考えて答えを導きます。

最後は洋式便所の模型の中に入った人間のうんちをリオくんが持ってきます。そして、フンコロガシ(私です)が、動物はあちらこちらにうんちをするのでかたずけるのが大変、人間はトイレを使おうねと呼びかけます。

ねずみ、へび、うさぎ、やぎ、カラス、なぜか鶏の玉子、いぬ、ライオン、くま、ぞうとだんだん大きくなっていきます。このうんちがとってもリアルにできていて、子どもたちは顔をそむけたり、においをかいだり、中には一緒に探してまわる子どもや、うんちの入ったお皿をみんなのところに運んでくれる子どもでできて、会場はとても楽しくほのぼのとした雰囲気になりました。

あるお母さんは、絶対にお母さんからは離れたことのない子どもが、いつの間にか一人でうんちのところに行って楽しんでいたら、とても喜ばれていました。

毎日、辛い治療を頑張っている子どもたちが笑顔になってくれるのが、私たちにとってもとても励みになります。

今日はきつとぐっすりと休んでくれることでしょう。

---

**参加者**

OnPal：松隈、真隅k、真隅s GAP：川崎、小南

病院：幼児14人 小学生1人 保育士1人

お母さん15人、おとうさん1人

---



リアルな  
うんち

